Governor's Monthly Letter

IMAGINE ROTARY

2022-2023年度
国際ロータリーテーマ

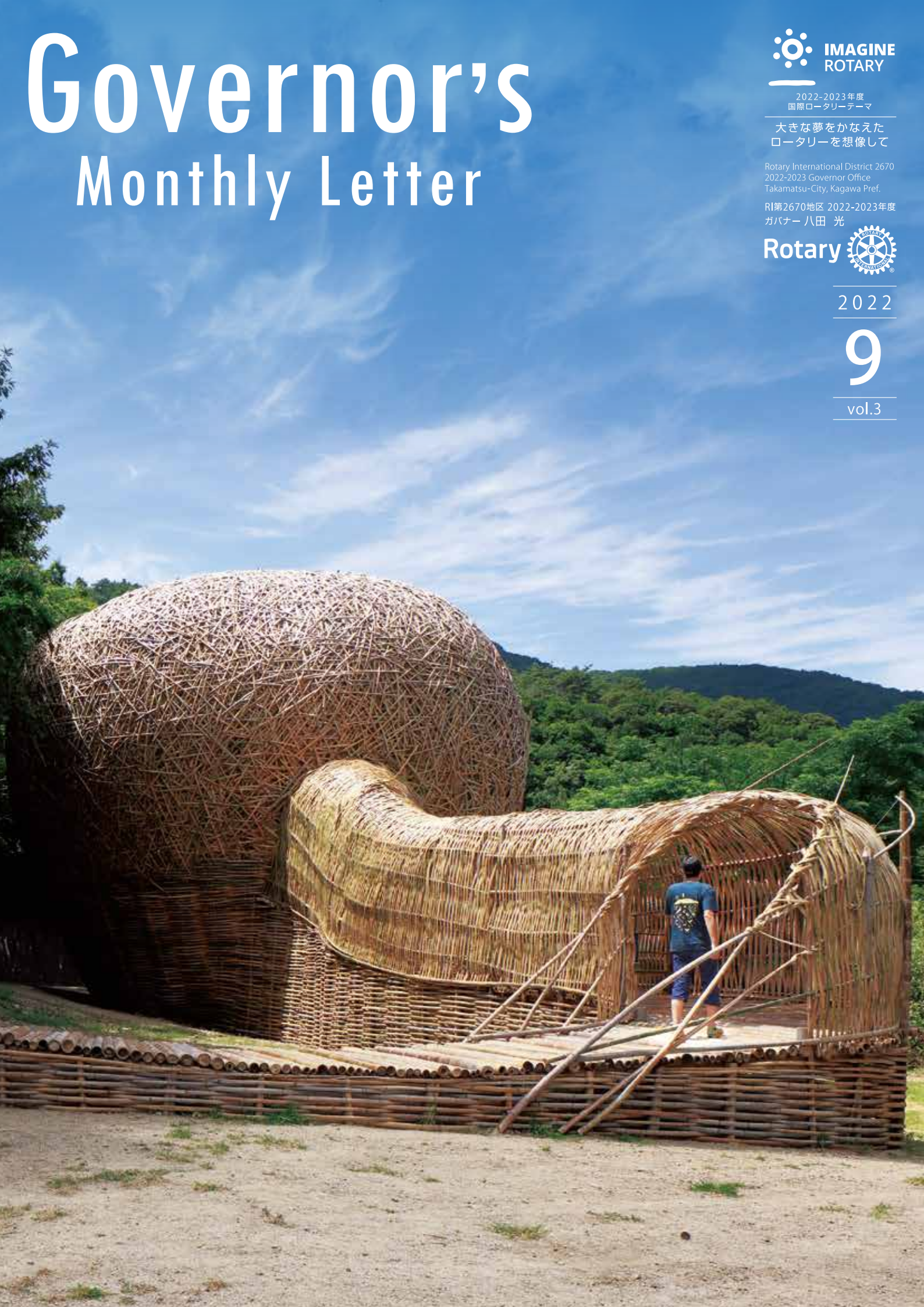
大きな夢をかなえた
ロータリーを想像して

Rotary International District 2670
2022-2023 Governor Office
Takamatsu-City, Kagawa Pref.

RI第2670地区 2022-2023年度
ガバナー 八田 光

Rotary

2022
9
vol.3



棚田が美しい小豆島の中山地区に約4千本の竹で作られた直径約15mの球体の構造物。
作品の中に入ると、鳥や虫の声、川のせせらぎが聞こえ、自然と一体となることができる。
9：30 ～ 17：00　入場料300円

CONTENTS

国際ロータリー第2670地区2022-2023年度 ガバナー挨拶　八田 光	3P
ロータリーの友月間に寄せて　ロータリーの友地区代表委員 真屋正明	4P
地区委員長挨拶	4P
クラブ便り　徳島地区4クラブテニス交流会開催（鳴門RC）	10P
クラブ便り　ナターシャ・グジーコンサート（丸亀RC）	11P
ガバナー公式訪問報告	12P
ロータリー歴65年 老タリアンのツイート　パストガバナー 太田英章（高松南RC）	19P
7月度出席報告	20P
受賞者一覧	21P

● ガバナー挨拶

イマジン ロータリー

国際ロータリー第2670地区
2022-2023年度 ガバナー
八田 光

公式訪問の旅が始まりまして、7月には直前ガバナーの中村RCを最初に14クラブを訪れました。皆さまと限られた時間ではありましたが、直接話すことができまして、さまざまな心に残る話や活動アイデアなどをお聞きできましたことを嬉しく思っております。まさに親睦あってこそのロータリーです。

最近、WEB3.0とかメタバースやDAOという言葉をよく聞くようになりました。どういうことなのかよくわからないのですが、どうやらこれからの情報社会で注目されているデジタルソフトや組織のようです。名もなき若きアメリカ人が立ち上げたウィンドウズという単語を30年ほど前に聞いたことがありましたが、まさか今のような状態になるとは思ってもみませんでした。当時の日本にはNTTのiモードがあり、NECもありました。日本はやっていけるぞとばかりに思っておりましたが、もう過去の繰り言に過ぎません。「アバター」という映画がありましたが、そのアバター（分身）を仮想現実の中で日常的に操る時代がくると予想されています。世の中というものは不思議なものです。いつのまにか、日本は活気のない衰退国に成り下がりつつあります。若者には社会を変える人（変化をもたらす人）になって欲しい。私達も負けるわけにはゆかないし、応援もしてゆきたい。せめて若者を支援できるようになりたいものです。

もう十数年前ですがこんな新聞記事がありました。

知識人に日本の将来はどうかと聞くと、すぐさま「ダメだね」という返事が返ってきていた。なぜダメかと言えば教育のレベルが落ちているのでまずは教育を変えなければならない。これには時間がかかる。そして、教育を変えても人材が育つにはまだまだ数年はかかる。だからすぐには日本は回復しない。回復しないどころかまだまだ沈んでいく。

その通りになってしまったなあと思います。ロータリーとしてやらねばならないことがまだまだありますね。人材を育てなければならない。学歴中心社会からやる気社会への転換が必要でしょう。「変化をもたらす人」が求められています。

非正規雇用が3千万人で、貧困者が1千万人といわれる日本である。貧富の格差の開きが世の中を不安定にしてきているのではないでしょうか。それは大正時代から昭和初期の時代に似ているとも言われています。バブルがありスペイン風邪があった時代です。物騒な世の中になってきました。この社会の凋落をなんとか食い止めることが出来ないものでしょうか。日本の大きな課題であり、それはとりもなおさず、世界の、日本のロータリーの課題でもありますし、各種・個別クラブの課題でもあります。

最近、国際ロータリーのジョン・ヒーコ事務総長より地区役員、会長・幹事他あてに「9月11日～17日」の週、地元のライオンズクラブ、キワニスクラブ、オプティミストクラブとの合同活動の実施を奨励する旨の連絡がありました。これらの世界の4団体の340万人が力を合わせれば、それぞれの地域で大きな活性化になるからということであります。コロナ禍ではありますが、出来る範囲で考えていきましょう。

ジョン・レノンが平和な世界を願ってイマジンを歌ったのはもう半世紀も前のことになってしまいました。Jennifer Jones RI会長はその気持ちを受け継いでいます。

私達も決してあきらめません!

「IMAGINE ROTARY」

● ロータリーの友月間に寄せて

デジタルアーカイブが開始された「ロータリーの友」

ロータリーの友
地区代表委員
真屋正明

9月は雑誌月間です。日本のロータリーが発展し、東西に分かれたときにお互いの繋がりを絶やさないようにと1953年1月に「ロータリーの友」は創刊されました。国際ロータリーには32の機関雑誌がありますが、日本の「ロータリーの友」は今年度で創刊70周年を目出度く迎えることになります。当初は横書きだけでしたが、短歌や俳句などはどうしても縦書きになじみがあり、日本はもともと縦書きでしたので、世界のロータリー記事や月間特集記事などは横書きに日本の地区やクラブの活動などの記事は縦書きということになりました。そして、表裏のないどちらからも読めるというユニークな雑誌となっています。

さて、2014年から「友」をウェブでも見れることになりましたが2022～23年度からは印刷冊子と電子雑誌のどちらかでの購入が選択できることとなっています。そして、随分前から進めてきました「友」のアーカイブがこの7月から使用できるようになりました。1953年の創刊号からのすべての記事の検索ができることになります。画期的なことです。試しに会員の皆様のクラブを検索してみてください。過去にどのような活動がクラブ名で投稿され記事として掲載されたのかがわかります。そしてテーマで検索しますと、同じテーマの奉仕活動のクラブ名や時期がわかります。クラブ同士の繋がりや連帯になる道が開かれることになるのではないでしょうか。

創刊70周年を記念してさまざまな企画が考えられていますが、中でも「70周年記念俳句大会」がございます。是非とも皆さまの投稿をお願いいたします。期待しております。
友の購読料は45年もの間、一冊200円でしたが、会員の減少や広告収入の減少によりこの7月号からは250円（本体）になっております。又、アーカイブは「ロータリーの友」にアクセスしていただきIDコードとパスワードを入力して閲覧下さい。IDコードとパスワードは友の購読請求書に記載されておりますのでご確認をお願いします。

「ロータリーの友」は日本のロータリーの機関雑誌です。今後ともご愛読と積極的なご投稿をお願い申し上げます。

● 地区委員長挨拶

会員増強・維持・
退会防止委員会
委員長

田中勇一

（阿南中央RC）

今年度2022-23年度地区会員増強・退会防止委員長を拝命しました。

徳島第1分区ガバナー補佐　田中勇一です。

コロナ禍にも負けずに第2670地区会員の皆様には日々活動の運営に意欲を燃やし、活躍をされてる事と思われます。

2670地区会員状況は2022年5月度の会員数は2,863名となっています。この内女性会員は6.8%ですが、八田　光ガバナーは、多くの目標の中でこの女性会員を10%となる様に各クラブにおいて女性の会員数の増強を掲げています。

現状では会員数の30人未満のクラブも多くあり（40%）、会員の減少傾向クラブも増え、クラブの運営が難しくなっている状況もお聞きしています。

クラブの活力を維持する為には、常に新しい若い人材を加入し続けることが必要です。また並行して退会防止にも気配りが必要です。新会員の教育にも力を入れ、楽しく、面白くする事が大事です。

クラブは何もしないまま1年が経過すると平均年齢が1歳上がりますので、活性化に向け、積極的に若い会員の増強に努めましょう。

クラブにインパクトを与え、変化をもたらし、爽やかな変化の風を受け入れましょう。雰囲気は変わり活性化してきます。

「若い人にまず行動」、「女性会員にもアタックしよう」

会員増強・維持・退会防止委員長として各クラブ2名の会員純増をお願いし、2670地区会員を3,000名に回復、維持できる事を目標とし、ガバナー、ガバナー補佐訪問の折には会員基盤の拡大と楽しく活発なクラブ運営ができるようにサポートすることに努めますので、各クラブ会長、幹事、会員増強委員、会員の皆様のご理解、ご協力を宜しくお願いします。

クラブ奉仕委員会
委員長

渡辺昌明

（高松北RC）

2022-23年度クラブ奉仕委員長の渡辺昌明です。ロータリー歴は16年になります。クラブ奉仕はクラブが円滑に機能すべくさまざまな奉仕活動を行うことを目的としております。例会出席やお互いの親睦そしてロータリーへの理解などが十分果たされるよう、また、クラブのプログラムが計画・立案され実行されるべく協力してゆくことになります。

私が4年前にクラブ幹事であったときに、CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）があるということを知りまして、興味を持っております。既に実践されているクラブもあると聞いております。しかしながら、クラブ奉仕は各種委員会に細分されており緊密な連絡が必要とされますので、なかなかクラブ運営が統合され難いところがあります。それぞれのクラブが発展、成長出来るように長期のプランも必要であります。CLPの活用により、地区の各クラブの活動がうまく機能するような考え方や仕組みが実現できればと思っております。地区クラブ奉仕委員長として皆さんにCPLを知っていただき、実践していただくようお願い申し上げます。そして「次世代のクラブリーダーを育て、クラブのチー力が強化され、そのクラブが発展すること」に貢献できることを願っております。

コロナ禍の現状ですので、クラブの行事や活動に影響がでておりますこと止むを得ないことでありますが、皆さまのご協力とご支援をお願いする次第です。

● 地区委員長挨拶

職業奉仕委員会
委員長
明神三幸
（中村RC）

昨年度に引き続き、2022-23年度地区職業奉仕委員長を拝命いたしました中村ロータリークラブの明神三幸です。どうぞよろしくお願いいたします。

前年度、東　邦彦ガバナー年度も新型コロナウイルス感染の世界的蔓延の中、委員会活動も休止状態で何も出来なかったのですが、本年度の丸井代表幹事から、これまでの分も含め引き続き委員長をと仰せつかりましたが、コロナ感染拡大状況は一向に収まる気配はなく、再びクラブ例会も短縮や休会という事態になっています。私、地区の職業奉仕委員会も4年目で、又しても一人旅が続くことになりそうです。

さて、「職業奉仕」とは、事業をして利益を得る事によって家族を養い、従業員に賃金を支払い、仕入れ先や取引先にもそれなりの利益をもたらし、共存していくのが「職業」で、その活動の基盤が地域社会だと考えます。今、世界は我々団塊世代の経験した事のない危機的状況にあります。本年度の地区運営方針は、「変化をもたらす人になろう」です。八田ガバナーは、中核的価値観を成長の糧として欲しいと言われています。ただ、変化が必要な状況においては、次のステップ、継続への準備に向かう事が必要だと言われています。

今、職業奉仕の在り方も変化が必要な時ではないでしょうか。奉仕活動も具体的なチャレンジを行う時ではないでしょうか。第2670地区の状況もより大変なのは、地域によっては過疎化が進んでいる現状ではないでしょうか。

ロータリーの力だけではなく若い方々、多くの団体、また各地のロータリーと共に自分たちの地域をより良い方向に進めていくことが、世界に対して平和の有難さを訴える事になると確信しております。

社会奉仕委員会
委員長
大杉幸雄
（中村RC）

昨年度に引き続き、2022−2023年度地区社会奉仕委員長を拝命致しました

中村ロータリークラブの大杉 幸雄です。

2022-2023年度国際ロータリー会長のジェニファー .ジョーンズ氏の掲げるテーマは、「IMAGINE ROTARY」（想像しよう　ロータリー）です。

2670地区の我々が地区に対して何ができるのか?何を推し進めていくべきか?

社会奉仕委員の皆様方の知恵を借りながら実行していきたいと思っています。

本年度の社会奉仕活動ですが、昨年度実行できなかった「おもてなし遍路ウォーク」を活動計画に取り入れます。コロナウィルス感染状況を見据えながら、実行をしていきたと考えています。その時には、各クラブの社会奉仕委員長様に地区の状況について、問い合わせを致しますのでよろしくお願いいたします。

本年度は、スムーズに例会が開催できるように願いますが、残念ながらコロナウィルス感染がいつ収束するのか予想も出来ない状況です。

三密を避けながらの奉仕活動には制限があり、小規模な活動になると思われます。

例えば、地域においてのボランティア活動への積極的な参加、またイベントや学校での催し物などのお手伝い等が出来るのではないでしょうか。まずは、ごく身近なところで想像をしてみましょう、何ができるのか。

各クラブ独自の事業活動は、まだまだコロナ禍により制限を強いられることでしょうけれど、地域の方々とのコミュニケーションを大切にしながら、どの活動が今の地域に必要か、また、地域の人々に喜んでもらえる活動は何なのかを考えていただけましたら、幸いです。

そして、クラブの社会奉仕委員会の情報だけでなく、クラブ全体の奉仕活動として考え、活動を通してロータリーの存在をアピールするようにお願い致します。

● 地区委員長挨拶

国際奉仕委員会
委員長
篠田日出海
（高松南RC）

国際奉仕委員会は、青少年長期交換小委員会と青少年短期交換小委員会、および国際奉仕ファンド小委員会の3つの小委員会から成っております。

当地区の長期交換小委員会/短期交換小委員会では、従来から青少年の交換プログラム（長期/短期）で若者達の“国際理解・親善・平和”を推進しております。しかし、この交換プログラムもコロナウイルス感染症（COVID-19）の流行により2020-21年度以来、今年度（2022-23年度）も3ヶ年連続で交換プログラム中止の憂き目に遭っています。

COVID-19の感染者数は、まだ減少の兆しは見えていませんが、発病者の重症化が減少化傾向にあることや、当地区と交換相手地区との双方の認識が一致すれば、交換プログラムの再開をするとの検討をしている状況です。

現時点では、来年度（2023-24年度）からのプログラム再開を予定しています。両委員会は、現在、再開準備事務（募集・選考・相手地区との連絡・派遣及び受入合意等)を行っています。この青少年交換に際しては、参加者の身体安全が第一であり、RIJYEM（ライジェム：国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構）の方針・指針の指導の下、「第2670地区青少年保護のための地区管理計画」が制定され、この危機管理計画に則って交換プログラムを進めて参ります。

また、国際奉仕ファンド小委員会の活動は、コロナ禍における発展途上国の貧困脱却や識字率向上、健康向上等の人道的支援プログラムを重点的に推進していきたいと考えています。

ロータリー基本理念の一つに、国際理解、親善、平和を推進することがあります。ロータリアン皆さんには、国際親善・国際理解に関するご協力をお願いして、国際奉仕活動を推進したいと思っております。

ご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

青少年奉仕委員会
委員長
荻田智子
（高松北RC）

いまだ収まらないコロナ禍の中、「共に考え、共に歩み、共に成長しよう。」をテーマに掲げた2022−2023年度の青少年奉仕委員会は、様々な課題に直面しながらも、力強くスタートいたしました。

8月末現在まで、それぞれの小委員会の行事や会合に参加いたしました。

予想をはるかに超えた縦のつながりや結束の強さを感じとることができました。

それぞれの委員会は今まで取り組んできた経験に加え、時代の流れや現状等を十分に精査した自信のある大胆な行動の展開をしております。

また事業・会合を実施するための綿密な計画のもと事前準備や相互理解・連携には驚かされました。

このしっかりした縦の軸とそれぞれの委員会が連携を持つ横の軸とがバランスよく融合すれば、「より豊かで安らかな21世紀」を実現するというロータリーの理想に繋がっていくものと思われます。

本年度始まったばかりのご報告となりましたが、今後の青少年奉仕委員会のさらなる活躍が期待できるものと楽しみにしております。

皆様の積極的なご参加、ご協力、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

● 地区委員長挨拶

ロータリー財団委員会
委員長
赤松昭信
（高松北RC）

ロータリアンの皆様、各クラブ財団委員長、委員の皆様には、日頃から財団に対し格別のご配慮をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。かれこれ10年以上も財団のお世話をさせていただいておりますが、本年度もよろしく御願い申上げます。

「ロータリー財団の使命」は財団の浄財を使って、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて世界に親善と平和をもたらすことにあります。

私達はこの目的のために「7つの地区目標」を掲げました。

1　全クラブからの寄付金（0クラブ0）を
　　本年度もお願い致します
2　グローバル補助金を利用しての活動
3　ポリオ（小児麻痺）の周知
　　（特に若い人達への周知活動）
4　年次寄付金
　　一人当たり15，000円を目標に
5　大口寄付金の推進
6　地区補助金を使用しての対外活動
7　国際親善奨学生の募集及び選考

財団が支援する活動は多岐に亘りますが“みんなに公平か”を考えながら進めて参ります。皆様のご支援ご協力を御願い申上げます。

尚、東直前ガバナー時にウクライナへの“支援災害救援基金”に2670地区から寄せられた金額は合計弗116，097．19の多額になりました。温かいご支援を誠に有難うございました。

米山記念奨学委員会
委員長
秋山佳弘
（丸亀東RC）

2022-2023年度米山記念奨学委員長を拝命しました丸亀東RCの秋山です。地区内各ロータリークラブの皆様方には、米山記念奨学事業へのご支援・ご協力を頂き、心より御礼申し上げます。

ロータリー米山記念奨学事業は、全国ロータリアンからの寄付を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。将来、日本と世界の懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することが事業の使命です。

米山記念奨学会の基金のもと、現在、日本に滞在して勉強している米山記念奨学生は年間910人で、世界129カ国に及びます。毎年事業費で約14億5千万円の奨学金等が支払われています。

1954年タイからソムチャード氏が第1号として来日して以来2021年7月1日現在累計22，267人に及び、国内最大級の事業規模です。日本のロータリーの父と呼ばれる米山梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことができる事業として1952年、東京RCが「米山基金」を始めました。「平和日本を肌で感じてもらいたい」と始められた米山基金は僅か5年で、日本の全ロータリークラブの共同事業となり、1967年に財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立され、2012年公益財団法人に移行しました。

ロータリー米山記念奨学事業の奨学金の最大の特徴は、世話クラブ、カウンセラー制度です。奨学生は、毎月、世話クラブの例会に出席して手渡しで奨学金を受け取り、会員と交流します。また、世話クラブの会員の一人が「カウンセラー」として、相談役になり、交流の橋渡しをします。1999年米山奨学生の対象を「救貧型」から「知的貢献型」へと転換し、人物優秀性を重視しています。

60年以上にわたる米山記念奨学事業の成果として、元奨学生すなわち米山学友と現役奨学生によって学友会が組織されています。

次に、寄付についてですが、普通寄付は1名につき6000円×会員数、特別寄付は1名につき10，000円×会員数をお願い致します。また、例年通り創立記念特別寄付及び卓話の実施をよろしくお願い致します。最後になりましたが、国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育てていきたいと思います。ご協力よろしくお願い致します。

● 地区委員長挨拶

広報・IT委員会
委員長
坂本厚子
（高松北RC）

2022-2023年度の広報・IT委員長を拝命いたしました高松北ロータリークラブの坂本厚子です。

広報・IT委員会は、ITを活用して幅広くロータリー活動をお知らせしていくことを目的としています。各委員会と協力をして、社会奉仕活動、国際奉仕活動、青少年奉仕活動、職業奉仕活動等、各クラブで常々行われている活動をインターネット通して発信していきたいと考えています。結果、ロータリーのイメージ向上に繋がり、会員増強や次世代ロータリアンの発掘に繋がればと考えています。

今年度から2670地区では、公共イメージ向上委員会が新しく設置されています。共に活動を行い各クラブの広報活動に役立つようにしていきたいと思っています。

また今年度は、地区全体での大がかりな奉仕活動が計画されています。その活動がスムースに運用できるようITも取り入れたしくみづくりも考えていきます。慣れない事が多々あるかと存じますが、何卒ご協力のほどお願いいたします。

各クラブの広報・IT委員長のみなさまには、クラブの奉仕活動をホームページに掲載をしていただき、また、会員のみなさまには、ご自身のfacebookやtwitterなどを活用して奉仕活動の状況を広く世間にお知らせして、ロータリーの広報活動に繋げていただきますようご協力をお願いいたします。

ロータリー
公共イメージ向上DEI委員会
委員長
三浦聖人
（観音寺RC）

2022-2023年度「ロータリー公共イメージ向上委員会」委員長を拝命致しました三浦聖人（観音寺RC）です。

この委員会は耳慣れない言葉ですが、実は2670地区においてこの度、初めて設置された委員会です。

「公共イメージ向上」は、国際ロータリー（RI）戦略計画の優先項目の「公共イメージと認知度の向上」から出てきた言葉であり、既に他の地区では委員会が設置され積極的に活動をしています。

そして現在、ロータリーが半世紀に渡って取組んでいる「ポリオ根絶」の活動を知って頂く為のキャンペーンが全国規模で推し進められています。

つまり、このキャンペーンを通して、ロータリーがどの様な組織なのか、何をしているのか、そして最終的にはロータリーに何らかの良いイメージを持ってもらい、会員増強に繋げていくことが、この委員会の目的とも言えます。

ところで、ロータリーでない人たちは、自分が接する数少ないロータリアンによって、ロータリーのイメージを作り上げる可能性があります。

そういう意味からもイメージ向上を担う役割は、我々委員会よりも個々のロータリアンの方が大きいと思います。

すべてのロータリアンが職業奉仕を心がけ、そしてロータリーで経験した感動を多くの人たちと分かち合えること、それこそが「公共イメージ向上」と言えます。

「公共イメージは一日にして成らず」この言葉の通り、我々委員会も、今期の活動で目的が達成できるとは思っていません。長期戦略の下で各クラブの社会奉仕活動の一助になれる様頑張って参りますので宜しくお願い申し上げます。

● クラブ便り 徳島地区4クラブテニス交流会開催（鳴門RC）

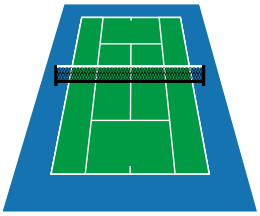
徳島4クラブテニス親睦交流会を開催しました。

2022年7月31日、午後3時からテニスアリーナガーデン住吉にて、徳島ロータリー、小松島ロータリー、鳴門ロータリー、徳島東ロータリーで合計13名により親睦テニス交流会が開催されました。コロナウイルス感染前の3年以上前に開催されて以来の集まりです。前回は、徳島ロータリー、小松島ロータリー、鳴門ロータリーの3クラブでの交流会でしたが、今回より徳島東ロータリーが新加入されて、更に素晴らしい交流会となりました。

3年余りの間に、皆さん大変腕をあげられて、レベルの均一化されて来て、本当に、参加された皆さんの幸せそうな顔を見て、今回の、交流会の成果がどうで有ったかよくわかりました。本当に、ご参加いただきましたロータリアンの皆さん、会場をご用意いただきました徳島ロータリークラブの皆さん、ありがとうございました。（笑）

また、ロータリーやテニスの会場で会う事が有ると思いますが、更に親睦を深める良いきっかけが出来ました。

場所: テニスアリーナガーデン住吉



● クラブ便り ナターシャ・グジーコンサート（丸亀RC）

丸亀RC60周年特別委員会

● ガバナー公式訪問報告

中村ロータリークラブ　7月13日(水)　新ロイヤルホテル四万十

● クラブ紹介　会長：小松昭二　　幹事：田辺　豊

中村RCは1963年10月2日に創立された、高知県内4番目のクラブであり、本年度創立59年目で来年度は節目である創立60周年を迎えます。現在（7月6日）の会員数は男性会員49名、女性会員5名の54名であります。前年度は当クラブから初めてのガバナーを輩出し、メンバー一丸となり地区事務所を支えることで、貴重な体験をさせていただきました。

奉仕活動では、地域の財産であります四万十川の清流保全として、年4回程度の美化ゾーン例会を実施し、更にはその他の四万十市の環境保全活動にも積極的に参加し、会員の環境問題の意識向上にも努めています。そして、地域社会活動としては四万十川ウルトラマラソンへの協力、地域交流としての児童養護施設での餅つき、学習交流会への支援、少年サッカー大会への支援、知的障害者育成会の皆さんとの交流ソフトボール大会など、数々の社会活動をも行っています。また、当クラブには野球同好会、ゴルフ愛好会があり野球同好会は選抜大会（全国大会）、ガバナー杯（四国地区大会）にも参加し、昨年度はガバナー杯で見事、優勝することが出来ました。

最後に、創立60周年に向け、地域への社会活動およびクラブ内活動を通じ、会員間の交流、親睦を図り、更なる会員増強にも取り組んで行く所存で御座います。

● 随行者コメント

東直前ガバナーのホームクラブに本年度第一回目の八田ガバナー公式訪問に随行してまいりました。大塚直前地区代表幹事をはじめとする地区事業に多大なる貢献をされている中村ロータリークラブの皆様と素晴らしい時間を共有出来ました。これからもどうぞよろしくお願いいたします。そしてご苦労様でした。　（丸井一馬）

宿毛ロータリークラブ　7月14日(木)　秋沢ホテル

● クラブ紹介　会長：有田裕彦　　幹事：池　和明

宿毛ロータリークラブとしましては、ロータリーは人道的、教育的な奉仕団体であることを踏まえ、地域へのロータリーの認知を高めて、会員の増強へも繋げていければと考えます。

奉仕団体としての活動をするために、新型コロナウイルスの影響を考慮しつつ、ロータリーの森の整備や、小学生へのタイムカプセル事業等、継続して地域に貢献していける活動を行っていきたいと思います。

● 随行者コメント

宿毛ロータリークラブは第2670地区の最南西端に位置し、RI承認1964年12月11日で今年58年目を迎え現在27名の会員で運営されています。

2022-2023年度は有田　裕彦会長、池　和明幹事のもと「明るく豊かな未来を想像して」をモットーに奉仕活動をされています。

（若宮達也）

● ガバナー公式訪問報告

さぬきロータリークラブ　7月15日（金）　トレスタ白山

● クラブ紹介　会長：谷口勝利　　幹事：古市千晴

当クラブは、現在19名と非常に会員数が少ないです。20年くらい前、40名近い会員が在籍していた年度もあったのですが、10年前に30名の会員数となり、そこから徐々に減少してきています。コンパクトになったことで、クラブのまとまりは大変よくなっています。

クラブの活動を全員が把握し、参加しやすいように、メーリングリストやLINEグループも活用し、参加を呼びかけています。10数年続けて「鴨部川あじさいロード」の草刈り奉仕をしていますが、例会後の時間帯の草刈りでも、10数名が参加しています。親睦では、少々狭い居酒屋でも親睦会が開催でき（コロナ禍では無理ですが）、距離が近い分、話が伝わりやすいし、意見も聞きやすいように思います。

平均年齢は59.62歳と下がってはいないのですが、印象としては若い会員が増えたように思います。少人数のため、会長・幹事職に就くことが早くなってきています。

● 随行者コメント

今年になって2名入会され総数19名のクラブです。その2名も再入会という事は　楽しいクラブの証だと思います。今年は8月26日を皮切りに、月に一度の夜間例会を開催し、昼出席が難しい会員の出席を促し、出席率の向上を図りたいとの事。

また、毎月のゴルフコンペなど親睦活動にも力を入れ、会員の定着・増強で目標21名まで持って行きたいと、谷口会長のクラブへの愛情を感じました。奉仕活動においても10年に及ぶ継続活動を始め、新しい企画にも取り組んでいるようです。　（中塚康裕）

阿南ロータリークラブ　7月19日（火）　ホテル石松

● クラブ紹介　会長：日下雅史　　幹事：米田三紀

阿南ロータリークラブのある徳島県阿南市は、四国（2670地区）の最東端に位置し、東は紀伊水道、南は太平洋に面しています。北部には一級河川那賀川が東に流れており、西は四国霊場第21番札所太龍寺山及び鶴林寺山によって四国山系の東端に連なっています。

今日では王子製紙（株）・日亜化学工業などが操業し県南地域の経済の中核都市として着実な歩みを続けています。

● 随行者コメント

訪問クラブは、設立63年のクラブで70周年までには増強し65名に増員予定を考えているクラブです。近隣クラブとの協調性を持ち、財団補助金も青少年事業スポーツでの申請が定期的に行われ、今後のクラブ強化の意識が強く、徳島県第1分区の中でも素晴らしいクラブに感じました。　（渡辺昌明）

● ガバナー公式訪問報告

阿南中央ロータリークラブ　7月20日（水）　コートベール徳島ゴルフクラブ

● クラブ紹介　会長：陶久晃一　　幹事：新田　勝

阿南中央ロータリークラブは阿南市の3クラブ目に誕生した新しいクラブです。例会場はゴルフ場内の広い駐車場と景色の良い例会場が自慢です。食事しながら美しい緑で気持ちが癒されます。ゴルフお越しの節はメーキャップにお立ち寄りください。8月からは食事も美味しくなりました。

創立2004年5月で会員は20名の親睦が主体の小さなアットホーム的な雰囲気のクラブです。以前はゴフルコンペを盛んに行っていたのですが、最近は少なくなってしまいました。

コロナ禍の影響もあり、例会数も減り出席率も低下傾向ですが、今年度は会員の意識が高くなり、海岸清掃、四国88カ所ポリオ撲滅祈願にと、目に見える活動が活発化出来る事を期待しています。

● 随行者コメント

田中ガバナー補佐のホームクラブに八田ガバナー公式訪問に随行してまいりました。

例会場としては珍しくコートベールというゴルフ場の倶楽部ハウスにて例会が開催されています。当日は9人の会員さんと田中ガバナー補佐の10人と少ない人数でしたが本年度、八田ガバナーが地区大会テーマに掲げている海洋プラスチックごみの収集なども行っており、興味深いお話を聞くことが出来ました。　（丸井一馬）

小松島南ロータリークラブ　7月20日（水）　みどり旅館

● クラブ紹介　会長：西上康広　　幹事：赤井美久

「当クラブは、例会を夜間例会とし、各会員が出席しやすいようにしています。

ここ数年は、少数ではありますが、毎年新規会員が入会しており、今後も会員増強に努めていきます。

今年度の目標は純増3名です。

また、心身障害児施設「めだか学園」への支援を続けており、今年度も継続して行う予定です。」

● 随行者コメント

小松島南ロータリークラブはRI承認1974年2月13日で今年48年目を迎え現在23名の会員で運営されています。

2022-2023年度は西上　康裕会長、赤井　美久幹事のもと親睦を重視し「楽しいクラブ」をモットーに奉仕活動をされています。また、小松島の海岸清掃を例年行っており全員参加の恒例行事になるように取り組まれています。　（若宮達也）

● ガバナー公式訪問報告

阿南南ロータリークラブ　7月21日（木）　ロイヤルガーデンホテル

● クラブ紹介　会長：原田利明　　幹事：野村誠也

昭和50年に創立以来、今年で47周年となりました。会員数50名で、週1度の例会には常に35名ほどが出席し、和やかな雰囲気で諸行事の相談や反省をしています。

市内小中学校から防災標語やポスターを募集する防災活動や、四国八十八か所霊場二十二番札所・平等寺でのお接待・北の脇海水浴場の清掃などに取り組んでいます。特に親睦活動（ゴルフ・食事会）や交流活動に前向きなクラブです。

● 随行者コメント

阿南南ロータリークラブは昭和50年8月29日RI加盟承認され今年で47年目を迎えます。現在会員数51名で会員間の親睦を大切にされて仲間意識の高いクラブです。また、毎年創立記念懇親会を開き、ガバナー訪問日に創立47周年懇親会が開催されていました。

奉仕活動としては北の脇海水浴場の清掃活動、四国遍路平等寺での接待および周辺の清掃活動などを行っています。さらに南海トラフ地震に備えて、防災委員会が地域との連携強化に努められています。

また、ニコニコも盛んでニコニコ委員会があり、「阪神が勝った」ということで千円寄付するなど気軽に千円寄付する人が多くおられ、ニコニコ表彰制度もあるそうです。　（若宮達也）

小松島ロータリークラブ　7月22日（金）　小松島商工会議所

● クラブ紹介　会長：青木正廣　　幹事：広野省吾

当クラブは、1954年に設立し本年で68年を迎えます。コロナ禍で活動がほとんど出来ておりません。会員数は多い時で40名程おりましたが、高齢化等で減少が進み、7月現在で19名となっております。ただし、長老（74歳）が5名いますがまだまだ若く、年齢差がほとんどないので、メンバー和気あいあいでアットホームな雰囲気で活動をしております。

本年度の課題として会員増強（特に女性会員）、退会防止に力を入れたいと思います。又コロナ禍により親睦活動がほとんど出来ておりませんので、親睦旅行、忘年会等行っていきたいと思います。再来年4月には70周年を迎えます。メンバー一丸となって盛大な式典が出来るよう頑張りたいと思います。

● 随行者コメント

小松島ロータリークラブは歴史があり行政との繋がりも深く地域に信頼されているクラブであるとお聞きしました。

今期も行政から補助金を頂き事業を実施する予定とのことです。会員拡大については、新しい会員の方も入会されておられました。

当日の会食では大きなウナギの入ったうな重をいただきました。

ご馳走様でした。　（塩田一人）

● ガバナー公式訪問報告

鳴門ロータリークラブ　7月25日(月)　リゾートホテル モアナコースト

● クラブ紹介　会長：高橋武良　幹事：高瀬芳己

当クラブは、徳島第一分区、第二分区において徳島RC、小松島RCに次いで3番目の創立歴史を誇り、二世会員はもちろん三世会員も擁する伝統深いクラブです。入会歴20年から30年会員も多く在籍し、40年を迎える先輩会員も少なくありません。

そして徳島県内最古の創業会社をはじめ、国内シェアNo1商品を生産販売するグッドカンパニーなど、多方面にわたり業界の第一人者が集う仲間が活躍しています。

また事業規模の大小や業種に関わらず、お互いの職業を尊重し、会員の立場を認め合う素晴らしいDNAが受け継がれ、会員間での商取引も好循環しています。

最近の会員増強では、新入会の現役親子会員（2組）や女性会員（3名）の存在が良い影響をもたらし、次世代の中核を担う活動が大いに期待されます。

これまで同様に当グラブに相応しい人材確保を重点として、次の節目の70周年に向け、将来像の100周年を見据えてクラブの歴史を繋いでいきたいと思います。

● 随行者コメント

他クラブの例会に参加するのは初めての事でしたが、自然豊かで景色のよい会場で、高橋武良会長の下、会員同士の親睦を深めている様子が伺え、普段とは違った環境でロータリーのことを学ぶ機会となり、大変勉強になりました。（中嶋　仁）

松山ロータリークラブ　7月26日(火)　ANAクラウンプラザホテル松山

● クラブ紹介　会長：米山徹太　幹事：木下裕介

テーマ　「ロータリーを深く考え直し更に発展させよう!」ロータリーの善行はどのようなものがあるか? を改めて考えてみる。現在会員数は69名であるが女性会員4名増を筆頭に合計11名増を目標にして会員数80名にする。改めて85周年記念例会の成功に取り組む。

● 随行者コメント

松山ロータリークラブは今年85周年を迎えられる歴史あるクラブです。米山徹太会長の元、現在会員数68名で運営されています。

2022−2023年度のテーマは「ロータリーを深く考え直し、更に発展させよう!」です。寄付がどのように社会の役に立っているのか? どうすればロータリーの本質に触れる機会を作り多くの会員が参加できる環境づくりが出来るか?一人一人が想像し、実行しクラブに変化をもたらす存在となり、今以上にクラブを発展させることに取り組まれています。（有吉徳洋）

● ガバナー公式訪問報告

川之江ロータリークラブ　7月26日（火）　ZOOMにて開催

● クラブ紹介　会長：宮内哲也　　幹事：篠原孝賢

当クラブは愛媛県の東端部に位置し、四国中央市は製紙・紙加工品の製造品出荷額では全国一位を保っています。したがいまして紙製品に携わる事業を行う会員が多数在籍しています。会員数は50名最年長82歳最年少45歳です。本年は創立60周年を迎え、ガバナー補佐輩出とIMを担当致します。ご参加の折には宜しくお願い致します。

● ZOOM同席者コメント

佐々木ガバナー補佐のホームクラブに八田ガバナー公式訪問に随行の予定でしたが、本年度初のズーム会議による懇談会となりました。

当日は佐々木ガバナー補佐をはじめ会長、幹事と会長エレクト、副幹事の皆様の参加で行われました。ズーム会議になりますと双方向からの活発な意見のやり取りはどうしてもやりにくくなりがちですが、有意義な時間を共有出来ました。

10月29日には60周年を祝う式典も計画されておりその時にお会いできるのを楽しみにしております。　（丸井一馬）

伊予ロータリークラブ　7月27日（水）　ウエルピア伊予

● クラブ紹介　会長：上本真也　　幹事：奥島幸雄

伊予ロータリークラブのある伊予市は、愛媛県のほぼ中央に位置し、県庁所在地松山市から南へ約10キロメートル、車で30分程の所にあります。

古く港町として栄えた町屋の歴史や、風光明媚で山と海の豊かな自然を有し、特に「日本の夕日百選」にも選ばれた、瀬戸内海に沈む夕日がきれいに見える街です。

伊予ロータリークラブは、1979年（昭和54）創立、2022～2023年度で創立43周年を迎えます。現在会員36名の小規模クラブながら、善行生徒表彰、地区清掃やRI 2670地区行事への参加など、地域との交流も積極的に行っています。

特に青少年交換留学にプログラムに力を入れており、3年前からコロナの影響で長期留学・短期留学共に中止になっていたが、今年度から復活する事になりました。ロータリーの縁で結ばれたオレゴン州のロータリアンと協力してプログラムを進めていく考えです。

● 随行者コメント

伊予ロータリークラブは、地元の高校、小学校と連携し共に活動する、地域に愛されるロータリークラブで、青少年奉仕や国際交流も盛んであり、長期交換留学生の歴史も古く、2670地区の中でも最多の長期交換留学生を排出されています。また、ライラに関しては43年前から取り組まれ大きな成果を残されています。

本年、2022-2023年度は上本真也 会長　奥島幸雄 幹事を筆頭に35名の会員を擁し、とても前向きな行動力のあるクラブでした。訪問させていただいた直近事業でも、コロナ禍で本来の事業が思うようにできない委員会のメンバーが、新たな事業として、地元のバザーへの参加をされた旨の報告がありました。コロナを言い訳に何も取り組まないのではなく、クラブ会員と共に新たな事業を模索し、実行する機動力あるクラブだなと大変感銘を受けました。　（藤重直紀）

● ガバナー公式訪問報告

今治ロータリークラブ　7月28日(木)　今治商工会議所

● クラブ紹介　会長：吉田　透　　幹事：米北顕規

今治ロータリークラブは昭和9(1934)年10月17日(木)、日本で13番目、四国初のロータリークラブとして大阪ロータリークラブをスポンサーに誕生しました。

現在会員数53名(内女性会員3名)です。今年度、クラブで特に力を入れてあることは、クラブ内での例会・親睦の充実です。ロータリーの仲間と最も多く過す例会、そして2年間コロナ禍で開催できなかった夜間例会・歓送迎会等で仲間同士のコミュニケーションを充実し、退会防止等に役立てればと思います。それと会員増強特に女性会員の割合10%を目標としています。

● 随行者コメント

① 会長幹事懇談会

今治ロータリークラブ会長、吉田　透様　幹事、米北　顕規様との懇談会が行われ、ガバナーからの依頼事項(会員増強がメイン)を中心に話がありました。吉田会長からは現状の今治ロータリーをご報告され、大変内容の深い話がありました。

② 例会

主に八田ガバナーの挨拶が中心の例会となりました。ニコニコに対して非常に熱心で年間で300万円近く集まるとの事。四国で一番最初に創立されたクラブだけあって、クラブの格式や、メンバーのプライドが感じられました。最後に全員集まっての集合写真を撮りました。

(松本光太郎)

西条ロータリークラブ　7月29日(金)　西条商工会議所

● クラブ紹介　会長：徳増秀久　　幹事：日野知則

西日本最高峰霊峰石鎚山と名水(うちぬき)で有名な西条市はこのコロナ禍で2年間中止になっていた西条祭りが2022年度開催の運びとなりました。近年は住みたい田舎ランキングでも上位に入賞2021年には全国1位になりました。現在会員数26名で今年度は増強目標5名増(女性会員含む)を目指します。

● 随行者コメント

コロナ禍で、ロータリーソング無しの昼食持ち帰りの短縮例会でした。今年4月の創立60周年記念式典も中止となり、今年度は記念誌の発行をするそうです。

例会の様子は　スクール形式の配置で、最前列には会員の持ち寄った3組の生花が飾られていて和やかな雰囲気を醸し出していました。これは20年以上前から続いており、毎回誰かが花を持参し、例会が終わると花を欲しい人がクラブに100円払って持って帰るみたい。

会員数は30人弱で推移していて、入会者もいれば退会者もいる状態。しかし、平均年齢は若返っているようです。また、同建物にライオンズクラブ事務局も入居しており、プレッシャーもあるのではないかと感じました。

(中塚康裕)

● ロータリー歴65年 老タリアンのツイート

ポール・ハリスの肉声

Column vol.3

パストガバナー **太田英章**（高松南RC）

この頃、ポール・ハリスの肉声の録音を聞くことができるようになりました。伝説となっている創設者の声を聞くことによって、彼も私達と同じ仲間だという親近感が湧き、心が躍るような感じがします。現在は、インターネットで「ポール・ハリスのラジオ放送」と検索すると、ポール・ハリスのラジオ放送（高松南RCウェブサイト）で聞くことが出来ます。この放送は、1933年（昭和8年）アメリカ　ボストンで開かれたロータリー世界大会でポール・ハリスが、ロータリー組織の結束を喚起し、国際理解と寛容の精神が世界各国のロータリー精神を結び付けていると世界の人々に向けて演説した初めてのラジオ放送と言われています。

「ラジオ放送を聞いておられる皆さん、イギリス諸島、中国、日本、ヨーロッパ、南アメリカの国々、オーストラリア、ニュージーランドなど、諸々の国から、40カ国以上の代表が集まっております。・・・・」と始まり、「ロータリーは、あらゆる職業や地位、あらゆる国々、あらゆる形式の宗教の人たちに開かれています。ロータリアンは多くの点で異なる者同士ですが、私達は、みんな完璧に調和しております。」と格調高い演説が電波世界中を巡りました。

当時、彼は65才、高めのトーンの声からは、ロータリーの発展を切に願う心意気が感ぜられます。時には創設者の肉声を聞き、ロータリーの原点に想いを馳せたいものであります。

● 7月度出席報告

分区	クラブ	出席率(%)	7月末会員数	首比増減	7月末女性会員数	例会数
徳島第Ⅰ分区 10RC	徳島	92.79	80	5	5	4
	徳島東	83.09	59	0	2	4
	徳島北	75.00	31	2	6	3
	徳島プリンス	89.45	78	0	11	5
	阿南	66.84	52	0	5	4
	阿南南	87.24	50	0	0	4
	小松島	89.47	19	1	0	5
	小松島南	66.30	23	0	0	4
	阿南中央	60.80	20	0	4	3
	徳島眉山	58.33	13	0	1	3
徳島第Ⅱ分区 11RC	阿波池田	63.69	42	0	0	4
	御所	65.87	24	-1	4	5
	鴨島	84.15	46	0	4	4
	鳴門	67.44	44	0	3	3
	鳴門中央	78.13	37	0	2	4
	徳島中央	62.96	27	2	4	4
	徳島南	68.65	37	0	3	5
	徳島西	84.68	33	1	4	4
	脇町	90.70	43	1	1	4
	阿波徳島	45.65	23	0	1	2
	美馬	72.00	25	0	2	4

分区	クラブ	出席率(%)	7月末会員数	首比増減	7月末女性会員数	例会数
高知第Ⅰ分区 7RC	安芸	90.91	20	0	2	3
	中芸	73.08	13	0	0	4
	香長	92.50	10	0	0	4
	高知中央	70.34	46	0	0	3
	高知東	100.00	54	1	8	4
	高知南	90.46	83	0	13	4
	高知ロイヤル	90.14	24	0	3	3
高知第Ⅱ分区 8RC	高知	84.50	91	2	14	4
	高知西	88.57	73	-1	2	4
	高知北	79.52	33	1	4	3
	中村	79.76	53	0	5	4
	四万十	76.47	12	0	2	3
	仁淀	73.68	20	1	2	3
	宿毛	56.38	27	0	0	4
	須崎	59.38	16	0	0	2

分区	クラブ	出席率(%)	7月末会員数	首比増減	7月末女性会員数	例会数
愛媛第Ⅰ分区 9RC	今治	98.58	53	0	3	4
	今治北	100.00	22	0	1	1
	今治南	100.00	65	-2	0	4
	伊予三島	100.00	36	1	1	4
	川之江	94.67	49	0	0	3
	新居浜	91.71	69	2	2	3
	新居浜南	85.37	16	2	3	3
	西条	86.92	26	0	0	5
	東予	96.30	28	0	1	4
愛媛第Ⅱ分区 11RC	北条	88.64	11	0	0	4
	伊予	85.82	36	0	0	4
	道後	91.67	24	1	1	1
	松山	70.71	69	1	4	3
	松山東	78.08	25	0	0	3
	松山北	81.48	27	0	0	2
	松山南	89.10	52	0	6	3
	松山西	83.33	23	0	2	2
	大洲	65.97	37	0	4	4
	宇和島	72.50	20	0	1	2
	八幡浜	87.88	24	0	0	3

分区	クラブ	出席率(%)	7月末会員数	首比増減	7月末女性会員数	例会数
香川第Ⅰ分区 10RC	さぬき	67.02	19	1	0	5
	東かがわ	91.04	24	0	3	3
	小豆島	92.86	29	0	1	5
	高松	100.00	89	2	7	4
	高松中央	91.00	37	0	0	3
	高松グリーン	92.65	37	0	3	4
	高松東	100.00	46	1	3	4
	高松北	88.44	79	0	7	3
	高松西	64.44	46	-1	2	4
	高松南	81.88	58	1	2	4
香川第Ⅱ分区 8RC	観音寺	88.10	42	0	4	4
	観音寺東	89.81	27	0	5	4
	琴平	95.71	14	0	0	5
	丸亀	79.72	59	0	4	4
	丸亀東	80.98	41	1	3	4
	坂出	94.87	39	1	1	4
	坂出東	76.25	75	0	11	4
	善通寺	87.10	35	0	0	4

	出席率(%)	7月末会員数	首比増減	7月末女性会員数	例会数
74RC 合計	82.07	2,889	26	202	298

受賞者一覧

米山功労者メジャ-ドナー

泉　恭宏
小松島南RC

内田信弐
高知南RC

豊田章二
高松南RC

米山功労者

渡辺成剛
高松RC

白井克彦
高松南RC

小野兼資
高松南RC

マルチプル･ポール･ハリス･フェロー

浦田健治
高知東RC

西森　大
高知東RC

戸田　明
高知南RC

物故会員

井上　修
今治南RC
2022年7月11日ご逝去
ご冥福をお祈り申し上げます

IMAGINE
ROTARY

Rotary

IMAGINE ROTARY

Rotary

ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

今年度よりガバナー月信は印刷冊子の配布に代えてネット配信となります。
ガバナー事務所HPにアクセスしていただき月信の閲覧及びダウンロードをお願いします。又、ロータリアン随想をロータリー暦65年のPG太田英章先輩に御願いしております。12回にわたり連載の予定です。

尚　ガバナー事務所HPアドレスは次の通りです。

http://www.rid2670gov22-23.jp

INFORMATION

- **物故会員の連絡について**
  クラブ名、氏名、逝去年月日と顔写真
  （お名前がわかるようにお願いします）をお送りください。
- **出席報告について**
  毎月最終例会後、翌月15日までにガバナー事務所へメール
  またはFAXしてください。
- **受賞者紹介について**
  ホームページ上の受賞者一覧にクラブ名、氏名を入力の上、
  写真も氏名がわかるようにお送りください。
- **クラブの行事や活動状況などについて**
  原稿と、出来るだけ写真を添えてメールでお送りください。

送り先は、ガバナー事務所まで

国際ロータリー第2670地区　ガバナー事務所
E-mail：info@rid2670gov22-23.jp

国際ロータリー第2670地区ガバナー月信編集委員会　　地区代表幹事：丸井 一馬／担当幹事：真屋 正明
〒761-8071 香川県坂高松市伏石町2034-1　TEL. 087-802-8045　FAX. 087-802-8046　E-mail：monthly@rid2670gov22-23.jp